

コンクリート湿潤養生システム

NETIS登録No.HR-080002-A

方法)

脱型直後のコンクリートをエアチューブで切羽側及びラップ側、養生シートでコンクリート面から隙間を空けて覆い、その隙間を加湿する。

効果)

坑内通気から遮断、保温・加湿養生をおこなって初期強度を向上させ、乾燥収縮及び温度応力によるクラックを防止すると共に、密実した耐久性の優れたコンクリートを形成します。

